

## 9/10 (火) カンコウ×デ×カンドウ

今日は足を伸ばして Siam まで行きました。

Mo Chit 駅までタクシーで移動し、Phaya Thai で石筒先生と合流して、Siam の MBK でご飯を食べました。

「僕が出すよ」という先生のお言葉に、容赦なくここぞとばかりに食べたいものを注文する 3 人… (美味しかったですありがとう  
ございました)

今後について少し話した後は、MBK に隣接している東急へ

日本の調味料 (食材) が手に入るということで、Banjumrung 村で日本食をふるまう時&自分が食べたい時に使うだろうと、醤油・  
ふりかけ・みりん・そうめんなどをガッツリ買い込みました。今思えば、何故 1500 バーツ近くも買ったのでしょうか…

そして先生とお別れし、本日のメイン・JIM THOMPSON House&Museum へ!

美術館や博物館などに行きたくて、あれこれ話し合った結果、ここになりました。浅山ちゃんは死体博物館に行きたかったよう  
ですが、私は Web に載っている写真だけでもうアウトなので、全力で拒否しました (笑)

ここは、タイシルクの名を世界的に広めたジム・トンプソン氏の家で、タイの古い建築様式+彼のデザインを取り入れた家が 6 軒  
繋がられています。中では彼が集めた古美術品などがたくさん展示されていました。(彼は謎の失踪をとげていますが…動物に  
も襲われた?)

入口までは、専用のミニバス? が送迎してくれて、中では少し日本語も通じました。しかも、入場料 100 バーツのところ、日本の  
学生証を見せたら 25 歳以下料金 (学割?) の 50 バーツで入れましたラッキー!(´▽`)

また、日本語を話せるガイドさんも何人かいて、各所の説明も全て日本語で聞くことができました。

ベンザローン?、と呼ばれるワインポットが、底からワインを入れるのにこぼれない構造になっていることに感動したり

タイ様式の家が、窓・柱・ドアなどが台形 (頑丈にするため) だったり

昔のタイは Siam (日本ではシャム、シャム猫もこれから) と呼ばれていて「豊かな国」という意味だったり

300 年以上前の古伊万里が展示されていたり

…とても興味深かったです。

タイシルクの販売コーナーもありましたが、シャツ 2800 バーツとか名刺入れ 1200 バーツとか、貧乏学生には厳しい値段だったの  
で諦めました(´Д`)

その後は、また MBK に戻ってショッピング (私は見るだけ)

途中で寄ったコンビニで、ついにセブンのシール台紙をゲットしたので、もうそれだけでいいかなとか思っていました。

ある人にどうしてもお土産を買いたかったのですが、何を買ったらいいか分からず悩み続け (タイシルクのネクタイも考えました  
がそれはちょっと重いし使わない?), 結局は TEL して本人に聞いた方が早いだろうと、今日買うことは断念…帰るまでに買う機  
会があるのかどうか…

夜は MBK 内のラーメン屋さんで済ませて、また BTS とタクシーで帰りました。

帰りのタクシーでは、おっちゃんが高速道路でテンションを上げるために、お気に入りの曲を流し始めてちょっと笑いました。

明日は Banjumrung 村についてのレクチャーがあるので、タイ語とはいえしっかり聞いてきたいと思います!